

# 「志田周子の生涯」映画化支援

## 学生がパンフレット作り

東北文教大



東北文教大短期大学部1年生が志田周子さんにゆかりのある住民の聞き取りを行った  
|| 西川町大井沢

東北文教大短期大学部の1年生が、西川町大井沢で地域医療に生涯をささげた女医の映画化を目指して募金活動を展開中の「志田周子の生涯を銀幕に甦(よみがえ)らせる会」(会長・阿部幸一月山朝日観光協会長)を学生の方で支援しようとして、募金者への返礼に用いるパンフレットを作成している。

以前から大井沢の人々と交流がある土居洋平准教授と総合文化学科の学生23人が授業の一環として実施。1日にはフィールドワークを行い、グループごとに分かかれ、志田さんと関わりがあった地元住民5人にインタビューを行った。

10代後半の時、助手として2年近く一緒に働いたという前田栄子さん(77)宅を訪れた学生たちは、志田さんの人となりや雪国での往診の大変さ、普段の生活の様子などについて質問。前田さんは「子どもと接する時はとても優しく、誰にでも平等に接し、みんなに慕われていた」と懐かしそうに語っていた。

高橋香奈子さん(19) || 山形市松原 || は「志田さんは昼夜問わず住民を診察し、地域のために貢献し続け、とても尊敬する人物」と話す。今後、学生たちはインタビュー記事をまとめたパンフレットを12月までに完成させる。